

くずは

2025. 7. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題 「イシクラゲ」

雨が降ると、駐車場からくずはの家に向かうレンガ道の脇や、小鳥の水飲み場に、緑色のプルプルしたイシクラゲのような物が草の間から現れてきます。

これはイシクラゲと言う、陸生の藍藻類(シアノバクテリア)の塊です。一見するとキノコのような菌類や普通の植物にも見えますが、イシクラゲはそれとは全く別の生き物「細菌」のコロニーなのです。

現在よりおよそ 35 億年前、地球上に細胞が生まれました。その数億年のち、光合成をする最初の生物(光合成細菌)が現れ、地球大気にそれまでほとんどなかった酸素が供給されるようになりました。この時現れた最初の光合成生物、それがシアノバクテリアなのです。このころ生まれたシアノバクテリアは、日中光合成をおこない、夜間に付着した泥や砂を分泌する粘液で固め、日々ドーム型に成長していきます。これがストロマトライトと呼ばれる生痕化石で、実物は生命の星・地球博物館の展示物で見ることができますし、西オーストラリアのシャーク湾というところでは、現在でも生きた状態のストロマトライトを見ることができそうです。

この生きた化石の仲間であるイシクラゲは南極大陸から北極海に浮かぶ島、そして、くずはの家の入口まで、地球上のいたるところで見ることができます。イシクラゲはバクテリアの細胞が糸状につながった細胞糸が多数、寒天質の基質の中に埋没した構造をしてい

て、顕微鏡で見ると、細胞糸は丸い細胞が連なった数珠(じゅず)のように見えることから、このシアノバクテリアの仲間は“ネンジュモ(念珠藻)”と呼ばれます。

なお、イシクラゲ(学名: *Nostoc commune*)はネンジュモ(*Nostoc*)属が研究された大元の種(タイプ種)とされています。7月13日(日)に行う顕微鏡教室では、実際にネンジュモの細胞糸の細胞が連なる様子を見ていただく予定です。

イシクラゲのプルプルしたこの寒天質の基質は、高分子の多糖類(グルコース、ガラクトース、キシロースなど)でできており、有害な毒成分も確認されていないことから、何と! 食べられるということなのです。実際、乾燥したイシクラゲは販売されているし、イシクラゲに近い仲間、熊本の水前寺公園に生育していたことで有名なスイゼンジノリ(水生シアノバクテリア)は、昔から食用として採取され、水前寺海苔や寿泉苔などの名前で将軍家にも献上されていたとのこと。スイゼンジノリもイシクラゲも、私はまだ食べたことがありません。今度、九州に旅行した際には是非ともこのシアノバクテリアを食べてみたいものです。

文・写真: くずはの広場所長 高橋孝洋



イシクラゲ



6/22(日) 知って安心! 自分で調べるヤマビルのお悩み(23人)

参加者の声 ・ヤマビルのことを知れて楽しかったです。とくに実験が楽しかったです。ヤマビルのイメージが変わりました。(子ども)
・たっぷり触らせてもらえて大満足です。卵の中で動く個体!! すごいですね。ずっと誰にも言えず観察してきたので、今日は解放された気分でした!(大人)

6/28(土) 季節の虫をさがそう(29人)

参加者の声 ・みずいろのきれいなカミキリ見つけたよ! たのしかったです。(子ども)
・久しぶりにガッツリ虫とりしました。こんなに多くの種類の虫を見られてたのしかったです。オオムラサキをくずはで見られるとは思ってもみなかったので、うれしかったです。(大人)

くずはの家 夏休み自然教室案内

★定員に達しなかった行事は12日(土)以降に電話・メールにて先着順で受け付けます。
空き状況はホームページをご確認ください。

テーマ	日時・対象
① 親子で水遊び〜竹の水でっぼう作り〜	7月21日(月・祝) 9:30~12:00 親子30名
② 水生生物教室	7月25日(金) 9:30~12:00 小学生24名
③ 丹沢の実物岩石MY図鑑づくり	7月26日(土) 9:30~11:30 小学生以上20名(材料費200円)
④ ちびっこあつまれ!川あそび	7月27日(日) 10:00~11:30 3~6才の幼児と保護者20名
⑤ 葉っぱのたたき染めに挑戦	7月31日(木) 9:30~12:00 小学生以上20名
⑥ セミの羽化観察	8月2日(土) 18:30~20:30 どなたでも30名
⑦ くずは川探検	8月3日(日) 9:30~12:00 小学生以上30名
⑧ クモのふしぎ大発見!〜はじめてのクモ観察〜	8月9日(土) 9:30~11:30 小学生以上20名
⑨ ナイトウォッチング〜夜の森探検〜	8月10日(日) 18:30~20:30 小学生以上30名
⑩ バイオミメティクス入門〜生物の知恵を学ぼう〜	8月11日(月・祝) 9:30~11:30 小学4年生以上20名

※保護者同伴: ②③⑤⑧⑩の行事は小学2年生以下、⑥⑦⑨の行事は小学生以下、①④は親子対象 ※①②④⑦は保険代50円

くずはの家のボランティア活動

☆6月の活動

定例会: 一回目は梅の実採り。今年は梅がきれいで豊作! 進入路と梅林、合わせてたくさんの収穫があり、皆さんで分けて持って帰ってもらいました。良い梅干しや梅酒ができますね。楽しい収穫の一方で、レンガ道の補修や、強風で倒れたウルシの木の処理をくださった方も、ありがとうございました。二回目は、毎年恒例のヤマビルおとり調査。猛暑が続いたせいか、なんと広場全体で匹しか捕獲されませんでした。このまま減ってくればいいのですが。

花壇の会: 樹木の剪定と草刈りをしました。夏の花の観察板も設置しました。

とんぼのせせらぎ: ホタルのシーズンが終わったので、遮光ネットを取り外しました。

☆これからの活動

定例会: 7/17(木) ※8月はお休みです。
花壇の会: 8/1(金) 早朝草取り
とんぼのせせらぎ: 7/24(木)

ボランティア活動の様子



行事のお問い合わせは、電話・メールにて
TEL&FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp
くずはの家HPはこちらから→  

【休館日】
7月: 7日、14日、22日、23日、28日
8月: 4日、12日、13日、18日、25日

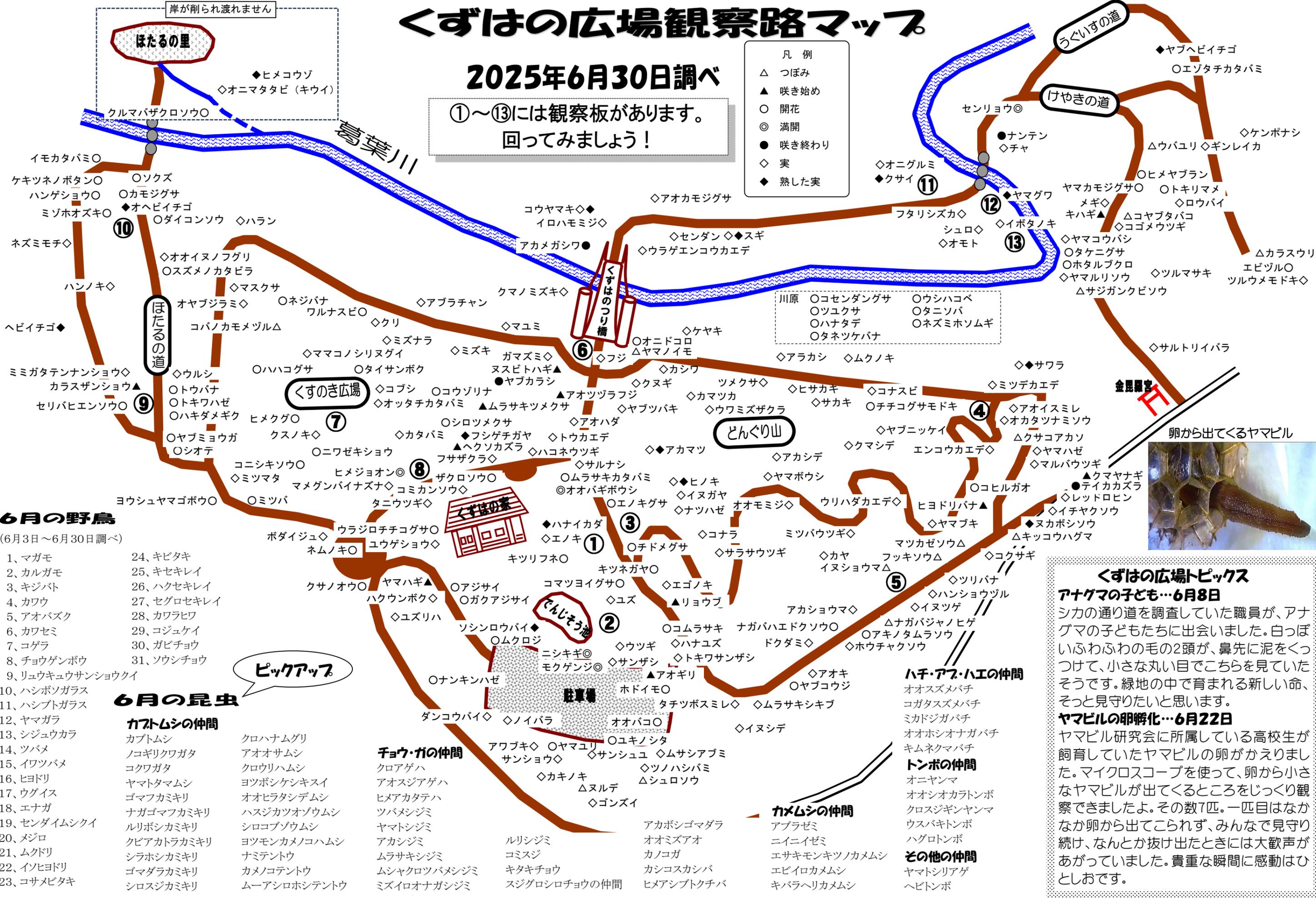
秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの広場観察路マップ

2025年6月30日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
 - ▲ 咲き始め
 - 開花
 - ◎ 満開
 - 咲き終わり
 - ◇ 実
 - ◆ 熟した実



6月の野鳥
(6月3日～6月30日調べ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1、マガモ | 24、キビタキ |
| 2、カルガモ | 25、キセキレイ |
| 3、キジバト | 26、ハクセキレイ |
| 4、カワウ | 27、セグロセキレイ |
| 5、アオバズク | 28、カワラヒワ |
| 6、カワセミ | 29、コジュケイ |
| 7、コゲラ | 30、ガビチョウ |
| 8、チョウゲンボウ | 31、ソウシチョウ |
| 9、リュウキュウサンショウクイ | |
| 10、ハシボソガラス | |
| 11、ハシブトガラス | |
| 12、ヤマガラ | |
| 13、シジュウカラ | |
| 14、ツバメ | |
| 15、イワツバメ | |
| 16、ヒヨドリ | |
| 17、ウグイス | |
| 18、エナガ | |
| 19、センダイムシクイ | |
| 20、メジロ | |
| 21、ムクドリ | |
| 22、イソヒヨドリ | |
| 23、コサメビタキ | |

6月の昆虫

- カブトムシの仲間**
- カブトムシ
 - ノコギリクワガタ
 - コクワガタ
 - ヤマトタマムシ
 - ゴマフカミキリ
 - ナガゴマフカミキリ
 - ルリボシカミキリ
 - クビアカトラカミキリ
 - シラホシカミキリ
 - ゴマダラカミキリ
 - シロスジカミキリ
- クワガタの仲間**
- クロハナムグリ
 - アオオサムシ
 - クロウリハムシ
 - ヨツボシケシキスイ
 - オオヒラタシデムシ
 - ハスジカツオゾウムシ
 - シロコブゾウムシ
 - ヨツモンカメノコハムシ
 - ナミテントウ
 - カメノコテントウ
 - ムーアシロホシテントウ
- チョウ・ガの仲間**
- クロアゲハ
 - アオスジアゲハ
 - ヒメアカタテハ
 - ツバメシジミ
 - ヤマトシジミ
 - アカシジミ
 - ムラサキシジミ
 - ムシヤクロツバメシジミ
 - ミズイロオナガシジミ
 - ルリシジミ
 - コムスジ
 - キタキチョウ
 - スジグロシロチョウの仲間
- カメムシの仲間**
- アブラゼミ
 - ニイニイゼミ
 - エサキモンキツノカメムシ
 - エビイロカメムシ
 - キバラヘリカメムシ
- ハチ・アブ・ハエの仲間**
- オオスズメバチ
 - コガタスズメバチ
 - ミカドジガバチ
 - オオホシオナガバチ
 - キムネクマバチ
 - オオシオカラトンボ
 - クロスジギンヤンマ
 - ウスバキトンボ
 - ハグロトンボ
- トンボの仲間**
- オニヤンマ
 - オオシオカラトンボ
 - クロスジギンヤンマ
 - ウスバキトンボ
 - ハグロトンボ
- その他の仲間**
- ヤマトシリアゲ
 - ヘビトンボ

ピックアップ



卵から出てくるヤマビル

くずはの広場トピックス

アナグマの子ども…6月8日
シカの通り道を調査していた職員が、アナグマの子どもたちに出会いました。白っぽいふわふわの毛の2頭が、鼻先に泥をくっつけて、小さな丸い目でこちらを見ていたそうです。緑地の中で育まれる新しい命、そっと見守りたいと思います。

ヤマビルの卵孵化…6月22日
ヤマビル研究会に所属している高校生が飼育していたヤマビルの卵がかえりました。マイクロスコップを使って、卵から小さなヤマビルが出てくるところをじっくり観察できましたよ。その数7匹。一匹目はなかなか卵から出てこられず、みんなで見守り続け、なんとか抜け出たときには大歓声があがっていました。貴重な瞬間に感動はひとしおです。